

第 97 回日本エスペラント大会計画書

1. 概要

- (1) 事業の名称：第 97 回日本エスペラント大会 / La 97-a Japana Esperanto-Kongreso
- (2) 主催：財団法人日本エスペラント学会，日本エスペラント大会常置委員会，長崎エスペラント会
- (3) 期日：2010 年 10 月 9 日（土），10 日（日），11 日（月・祝日）
- (4) 会場：長崎ブリックホール（長崎市茂里町 2-38）
- (5) 予定参加者：登録 500 人，実参加 350 人
- (6) 後援依頼先：文部科学省，長崎県，長崎市，長崎県教育委員会，長崎市教育委員会，日本ユネスコ国内委員会，独立行政法人 国際交流基金，社団法人 日本ユネスコ協会連盟，社団法人 日本ペンクラブ，長崎放送（NBC），エフエム長崎（UTY）*，KTN テレビ長崎，NCC 長崎文化放送*，NIB 長崎国際テレビ，NHK 長崎放送局，西日本新聞社*，長崎新聞，朝日新聞，毎日新聞，読売新聞，日本経済新聞（*印：承認済み）
- (7) 大会テーマ：エスペラントは世界を変える，そしてあなたも！

Esperanto ŝanĝas la mondon, ankaŭ vin!

2. 開催趣旨

日本エスペラント大会は，毎年 1 回，国内で場所を変えて開かれ，エスペラントを学び，使用，活用する全国の関係者が一堂に会し，研究発表，討議，交流を行う場です。1906 年に第 1 回大会が開かれました。また，海外からの参加者も含めて，エスペラントを通じた異文化交流を実践し，お互いの国の歴史や現況を理解し合うことにより，平和な社会の実現に寄与することも開催趣旨としています。

3. 主なプログラム

- 大会フォーラム
来賓・参加各国挨拶，物故者への黙祷，各種授賞，各種報告，参加者による合唱，次年大会開催地への引継ぎ他
- 公開番組
2009 年事例：講談師神田甲陽師による「ザメンホフ一代記（仮題）」
2008 年事例：公開シンポジウム「なぜ今，国際言語年か — 言語の多様性と対話の文化 — 」「源氏物語の翻訳」
- 各種講演
2008 年事例：「徳富蘆花と愛（エスペラント語）」「和歌山とエスペラント」「紛争解決教育（エスペラント語）など
- 初心者対象番組：エスペラント会話実習，実習等
- 分科会
平和問題，女性問題，インターネット，医・科学者，クリスチャン，仏教徒，健康法など
- 試験：日本エスペラント学会検定試験，日本エスペラント学会新テスト
- 観光
大会前観光（くんちを観る），直前観光（長崎平和さるく，長崎クリスチャン遺跡さるく，長崎幕末さるく），大会後観光（雲仙・島原）

4. 参考

(1) エスペラント

1887 年に当時のロシア（現ポーランド）に生まれ育ったユダヤ人，ザメンホフによって創案・発表された国際共通語エスペラントは，すべての人と対等な立場，差別のない立場での国際交流を目指す言語です。ザメンホフは 1859 年生まれで，今年は生誕 150 周年に当たります。

(2) 財団法人日本エスペラント学会

財団法人日本エスペラント学会は、国際語エスペラントの普及・発展を目的とする日本で唯一の公益法人です。1919年に設立され、1926年に財団法人になりました。理事長 柴山純一。

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 12-3

Tel. 03-3203-4581, esperanto@jei.or.jp

(3) 日本エスペラント大会常置委員会

日本エスペラント大会の一貫性を保つことを目的として設置され、大会開催地 委員（前、現、次期開催地から選出）、エスペラント運動経験者委員（主たるエスペラント団体から選出）、財団法人日本エスペラント学会組織部長の計7人、最大9人の委員からなる組織。

(4) 長崎エスペラント会

長崎市を中心として長崎県内のエスペランチストにより、学習会を中心に活動している。長崎に来訪する外国人エスペランチストとの交流なども行っている。会員数：12人

代表：深堀義文（〒852-8047 長崎市若竹町 5-14）

Tel. 095-849-5650, espero-yoshi@shore.ocn.ne.jp

以上